



(共同通信の記者さんが撮ってくれました)

【21 日目】LEON

2011 年 10 月 5 日 (水) 12:01

(10 月 4 日)

今日は辻雅也さん取材させていただきました。
彼は、とっても男前なルアーフィッシング船の船長です。
島では彼のように船を持ち、釣り客を相手にする職種でも
漁師と呼ぶようです。
漁業協同組合に属しているからだそうです。

船の名前は LEON

篠島では珍しい青い船

LEON とは中 1 の息子さんの名前です



am5:00 出港

風が出て少し寒い

知多半島の大井漁港にお客さんを迎えに行きます

am5:30 お客さんが乗船

朝焼けの中、ふたたび出発

次第に風も静まり、釣り日和

am6:00 伊良湖岬近くに着くと
すぐにタチウオが釣れ始めました
釣り上げられたタチウオは朝日でキラキラ光ります

次はカマスが入れ食い！



やった！
あまりにもたくさん釣れているので
私も便乗させてもらい3尾釣りました
釣り上げたカマスは生温かい・・・
ウサギなどの小動物を触っているような感じ
魚の血は温かいんですね



その後は魚群探知機でハマチを探して移動します
ハマチはどこかな〜



名古屋から来た陽気なお兄さん♪
気さくにいろいろ話してくれてありがとうございました



あ、ハマチが釣れました！

正確にはハマチの子、アブコです

大きな真アジも釣れていました

辻雅也さんの船はルアーフィッシング専門で

常連さんも多く、とても人気があるようです

詳しくは HP をご覧下さい

<http://leongo.blog74.fc2.com/>

夜は、雅也さんの奥様のお姉さんの家で宴会





可愛らしい母娘を激写しました☆
釣りたてのカマスのお刺身はアブラが乗っていて美味しかった!!



賑やかで楽しい夜でした

おまけシリーズ Vol.9

2011年10月6日(木) 6:08

今は雑誌の追い込み作業で忙しくしています…
島内で声をかけていただいた方々…
愛想なしでゴメンなさい。



カマスちゃん、魚拓にしてあげられなくて
ゴメンなさい。

【22日目】朝の路地裏で

2011年10月7日(金) 18:35

(10月7日)

午前中、

朝日新聞の美人記者さんと雰囲気の良い路地裏を歩いていたら、

「ミケ、ミケ」

という男の人の声が聞こえてきました。

声の主は、この方。

山本昭光(アキミツ)さん。

洪くて、とても優しい感じのおじさまです。

石段に腰掛けてアナゴの網を直していました。

そして、お気に入りの猫に話しかけていたみたい……



この子が、お気に入りのミケです。

(2色だけど……)



「コーヒー飲んでいきなさい」
と云ってくださったので、
路地に面した家に初めてお邪魔しました。
古くてひんやりとした、落ち着いた佇まいの日本家屋です。
引き戸などの建具も凝っています。
こういう家、好きだなあ。
目の前の路地はとても細いので、大きな声を出せば、
通りを挟んだ向かいの家の人とでも会話ができそう。

山本さんはアナゴも獲りますが、
毎年10月10日頃からはフグを獲るそうです。
「フグは美味しいよ。ご馳走するから食べにおいで」
そう私達を誘ってくれました。

エエエ！？
フグを食べに来てもいいんですか？
ほんとうに？
嘘じゃない？

10日と言えば、もうすぐだ (!!)
このメチャクチャ素敵な家に、獲れたてのフグを食べに来る !! ?
こんなことがあっていいのだろうか …

私はこれまで、たいへん地味な人生を送ってきましたが、
山本さんの一言で大きな幸せを感じてしまいました。

ありがとうございます！

今は仕事が山積みだけど、フグを目標にすれば頑張れる！かも・・・

【23日目】プロのお仕事

2011年10月9日(日) 18:08

(10月8日)

篠島の漁師の中でも特に腕がいいと評判の天野昌次(マサツグ)さん。
彼の船は「八号昌明丸」。
また「志波」という屋号で釣り船の船頭もしていらっしゃいます。

波が高くて同乗できない日が続いていましたが、
念願かなって、やっと船に乗せてもらえることになりました！
am4:30 出発
空にはまだ星が見えます。

「今日は凧だよ」と聞いていたのに
船が走り始めると揺れる揺れる!!

仕事とはいえ、さっそく後悔し始める私・・・
波がバシャンバシャンと真っ白い飛沫をあげています。
手すりにしがみついているこの手を今離したら、
間違いなく海にドボン！です。
仮に私が落ちなくても、
貸してもらってるiPad2を海に奉納してしまう可能性は大。
もし私がiPad2を海に落としても、それは不可抗力です。
どうか怒らないでください。

空が明るくなると共に、
志波さんは釣りを開始します。
一本釣りと言っても竿は使いません。
エビを付けた糸を直接手で持って釣ります。



揺れる船の上で、写真を撮るのは非常に困難。

(絶対ブレます)

志波さん、動かないで！

船の揺れ、とめてください！





わあ、恰好いい！



仕事ですが、私も少しだけ釣り糸を垂らしてみます。

ハマチ〜 おいで〜 エサだよ〜

しかし、かかったのはギマ！



私の釣果はギマ1尾でした。

今日の取材の成果は、篠島のPR誌に特集記事で書きますので、是非読んでください。

「海の男はなぜ恰好いいのか。一本釣り漁師の魅力に迫る！」
です。

【24 日目】祭の準備が進んでいます

2011 年 10 月 12 日 (水) 3:24

(10 月 11 日)

明日はいよいよ「おんべ鯛祭」

いま篠島は、祭の準備一色です。

ずらっと並ぶ漁船には、大漁旗が飾られています。

壮観です…



魚市場では、このあとたくさんのお店が出て前夜祭が行われます。

午後 7 時からは日間賀島の竹内晴奈ちゃんも歌ってくれます。



輪投げのお店の準備をする、天野ひかりちゃん。

お手伝いをする佐久島の新里碧ちゃん。

明日は、朝からいよいよ「おんべ鯛祭」！

私たちも船に乗り、三重県の神社港へ行ってきます。

どんな祭なのか、すごく楽しみです！

【25 日目】おんべ鯛奉納祭

2011 年 10 月 13 日 (木) 12:26

(10 月 12 日)

ずっと楽しみだった「おんべ鯛奉納祭」の日が来ました！

篠島で獲れた鯛を伊勢神宮に奉納する祭です。

戦後、海路での運搬は途絶えていましたが、

平成 10 年に漁協の組合員によって再び始められました。

朝 7 時。

伊勢神宮領である中手島から干鯛が入れられた唐櫃(からびつ)が、

白装束の人々に担がれて下りて来ました。

中手島は船着場の左手にある地続きの島。

行列は、朝のさわやかな空気の中を漁港を目指して進みます。



あ、旗が絡まっちゃった…



「太一御用」というのは、太一＝天照大御神のことで、
伊勢神宮に神様の食料を奉納する者ですよ、という意味です。
昔からとても神聖なものとされていたそうです。
漁港に到着。すぐに神事が始まります



大漁旗がはためいて豪華な雰囲気！



子供たちもたくさん参加してます



鏡開きも行われ、お神酒をいただきます。

オイシイ。

子供たちのブラスバンドの演奏が始まったと思ったら…

ええ!もう出航するの?

私たちが乗せてもらう「おかみさん会」の船はどこ?

ミドリちゃん、ハルナちゃん!どこ?

きゃー! 乗り遅れるー!!



露払いと呼ばれる船を先頭に、
おんべ鯛を乗せた大船(おおふね)が続き、
大漁旗を挙げた6隻が次々に出航していきます！
あっ!という間の出来事です。
さっきまでセレモニーをやっていたのに、もう行くの？
このとてつもなく性急な感じが、篠島の特長なんです。
私が慌てて最後の船に乗り込むと、この船もすぐに出発。
漁港がどんどん遠ざかって行きます。
イッテキマス。
あーびっくりした。
すごくドキドキして急にお腹が空いてきたので、
さっきもらった熱い豚汁をムシャムシャ食べる。
出航してすぐ、この船に乗る予定だった女性を1人、
島に置いて来てしまったらしい…という話が聞こえてきました。
ホントに気の早い人達だなあ。